

ユニオンリーダーへ新たな発信

APPROACH

あぶろうち

AUTUMN
2022.9
No.284

特集 「2022県民意識調査結果と 私たちの政策実現に向けて」

P2-3 2022県民意識調査結果と私たちの政策実現に向けて

P4 毎年9月10日～16日は自殺予防週間です

P5 2022連合群馬ふれあいフェスティバル
全会場統一企画 インスタ・フェイスブック フォトコンテスト 審査結果発表!

P6 労働組合 on VIEW 「連合群馬青年委員会」

P7 ユニオン掲示版・ランチ味ーティング

P8 声-voice-14・第27回年次大会 告知 ほか



「2022 県民意識調査結果と私たちの政策実現に向けて」

特集



本年は、9月16日に群馬県知事へ提出する「政策・制度要求と提言」の内容の基となっているのが、毎年2月～3月にかけてみなさんへ協力をお願いしている「県民意識調査」です。

今回は、「連合群馬の政策実現の取り組み」において、意識調査結果の一部や政策の策定過程、実現に向けた活動について紹介します！

政策の策定から実現に向けて

県民意識調査結果を活用した政策の策定は、他の地方連合会でもあまり例がなく、「連合群馬モデル」とも言えます。その中で、意識調査の内容や政策の立案、また政策立案に向けたイベントの内容について論議をする「政策委員会」を設けています。委員会は、構成産別や地域協議会から選出された委員で構成し、さらに連携する県議会議員や有識者も参画しています。

政策の策定は、毎年9月ごろに知事へ提言書を提出していることを踏まえ、年間でサイクルを決めて取り組んでいます。

例えば、提言書を提出した後、県から回答書を受け取り、実現の方向に施策が進められているか評価。同時に、翌年の意識調査を、地域協議会などから意見をまとめて作成します。意識調査の展開後は、主に政策課題の現状を把握するための学習会、また必要に応じて産別・有識者・議員などと意見交換をおこないます。

そして、6月に意識調査結果をまとめ、当年に提出する政策の枠組をつくりまします。委員会などで論議された政策案

は、一般住民を巻き込んだ「政策フォーラム」での意見交換を実施。最終的には、連携議員と県の現状を摺り合わせながら完成させます。



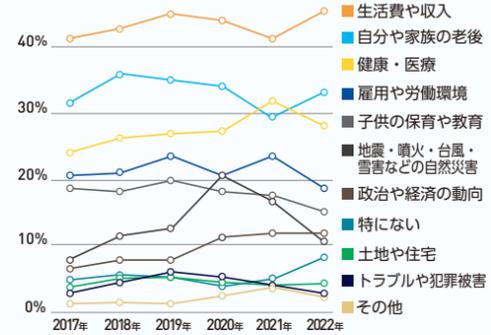
知事提言は、政策の取り組みにおいて大きなイベントですが、政策策定の最も重要なポイントは、前年の評価や意識調査というような、仕込みの段階で如何に課題感を的確にとらえられているか、であると考えます。

次は、私たちの政策実現に向けた取り組みです。

県の施策は県議会でも決まることから、やはり連携する議員に私たちの政策を議会の場で取り上げてもらうことです。そのためには、日常から議員との連携を深め、連合群馬の政策を理解してもらうことが大切です。そして、世論喚起では、マスコミの活用や街頭でのアピール行動で、多くの

県民意識調査結果

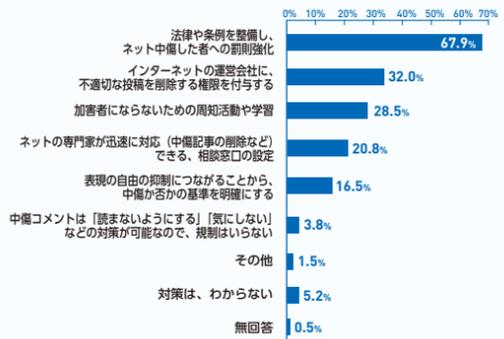
私たちの政策策定の基礎になるものとして、本年も10,138人から回答をいただきました。その結果から、気になる3点をピックアップして紹介します。



・新型コロナウイルス感染症の発症者数は、いまだ増減の変化が大きい中ですが、「健康・医療」の数値が昨年と比較して低下しました。

・「自然災害」は、2019年の台風19号で本県も被災し、数値が急上昇しました。しかし、年数が経つにつれて低下傾向。防災意識の低下が懸念されます。

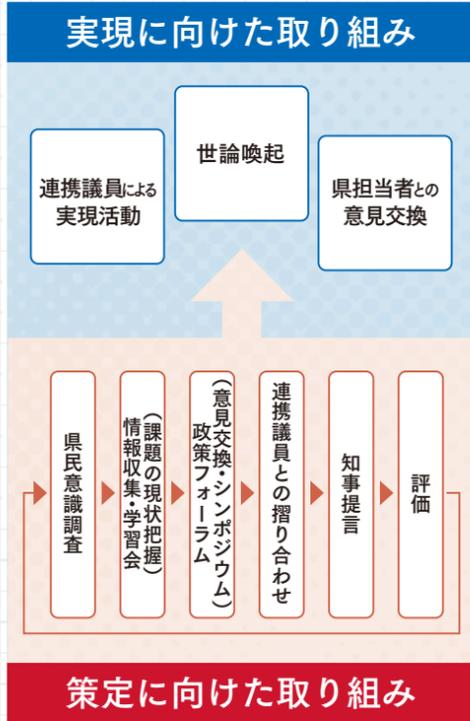
Q8 インターネットの普及で、自由に自分の意見を発信できる時代になりました。あなたは、「ネット中傷」の規制・禁止、対策についてどのようになっていますか？「2つまで選択」



・「罰則強化」の回答が多くなりました。7月には「侮辱罪」が改正となり厳罰化されていますが、このことによる県民意識の変化はないと考えます。

・匿名で書き込める、書き込んだ人を特定することが困難であるなど、課題は多くありますが、まずは特定の人への誹謗中傷が「犯罪」であることを一人ひとりが理解していく必要があります。

・自らが加害者にならないために、群馬県では「ネットリテラシー」教材を作成してホームページで公開しています。



人に私たちの取り組みに共感が得られるように取り組んでいます。残念ながら、最近ではコロナの影響もあり、街頭でのアピールの機会が減少しています。

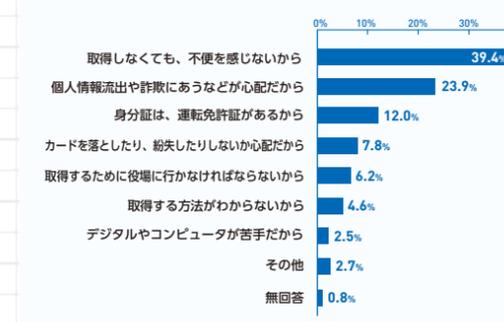
ら回答書が提出されますが、その内容について互いに深い理解が必要な場合、直接その担当者との意見交換をおこなっています。提言の背景、県の施策を理解し合いながら、政策実現に近づけるよう取り組んでいます。

また、政策提言の後、県から

いろいろな産業界労働組合が集う連合群馬にとって、「政策実現の取り組み」は最も重要な取り組みです。「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」に向けて、これからは組合員をはじめとした県民の声を集め、政策につなげていくこと、またその結果をしっかりとみなさんに伝えていくことが大切だと考えます。

みんなの声で、力で、住みよい群馬県をつくっていきましよう！

Q9-2 マイナンバーカードを取得しない（したくない）理由はありますか。「1つだけ選択」※対象：マイナンバーカードを「取得する予定はない」と回答した3,299名



・6月末時点での群馬県のマイナンバーカードの交付率は、全国では45.3%。群馬県においては38.4%と非常に低い状況にあります。

・国は昨年、2022年度末までに全国民への交付をめざすことを発表し、利用範囲の拡充や、マイナンバーカード第2弾などで普及に取り組んでいます。

・行政コスト削減に向けても、一人ひとりがマイナンバーカードを持つことが大切です。



インスタ・フェイブック フォトコンテスト 審査結果発表！

3年ぶりに開催することができた「連合群馬ふれあいフェスティバル」。天候にも恵まれ、多くの方に参加していただきました。今回はじめて、県内8会場による統一企画としてフォトコンテストを実施。入賞された皆さまおめでとうございます。引き続き、労働組合の「連合群馬」をよろしくお願いたします！

最優秀賞 (2点)



事務局コメント：
クイズラリーの途中で地協旗を見つけたのかな？
ジャンプ力すごいね！！



事務局コメント：
G-FIVEと一緒にポーズ！
決まったね！！

優秀賞 (3点)



事務局コメント：
QRコードより、その先にある「カブト虫」の方が気になっちゃうよね！(笑)



事務局コメント：
ママと手をつないで楽しそう！次のチェックポイントを探しているのかな？



事務局コメント：
力強い太鼓の音。高崎の空に響き渡りました！

入選 (5点)



事務局コメント：
パパ大変そう…(笑)
その山の上にチェックポイントが…がんばれ！



事務局コメント：
平和への願いを込めて…ご協力ありがとうございました。



事務局コメント：
いつもお世話になっております。また子どもたちに夢と希望を与えてください！



事務局コメント：
ママと一緒にカップづくり。上手にできたかな？



事務局コメント：
太田会場は本当にきれいな空でした。会場の広さが伝わります！

毎年9月10日～16日は自殺予防週間です

「連合群馬ライフサポート相談室」のカウンセラー大小原利信さんにお話をうかがいました

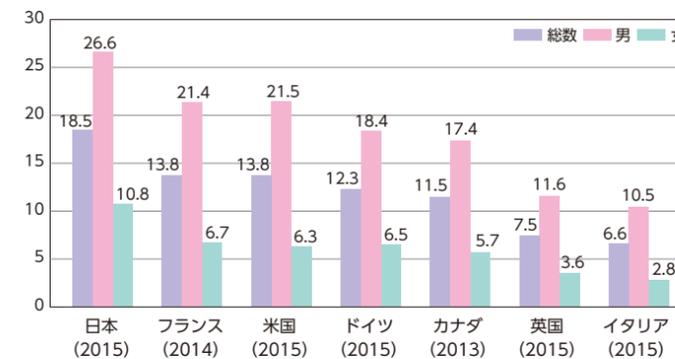
2008年のリーマンショック後の失業者対策として、連合群馬が2009年8月6日から始めた「ライフサポート相談室」を担当させていただいているカウンセラーの大小原利信と申します。

「ライフサポート相談室」は、連合群馬加盟組合や組合員からの相談だけでなく、市民からの相談が多数あり13年間で延べ8571人の電話や対面相談がありました。本来は失業者対策としてスタートした相談室ですが、ストレス社会と言われる中で最近はコロナストレスが上乗せされて、世界中の方々が「今まで普通にしていたことが出来ない」「やろうと思っても出来ない」ことが増えてきている環境のため、自殺念慮に関する相談が少なくありません。

グラフのように先進国の中で日本の自殺率(人口10万人当たりの自殺者)は先進諸国と比べると高い自殺率となっています。この対策としても相談室は高い役割となり、「いのちの電話」から紹介されて、ライフサポート相談室に電話が来ることも少なくない状況となっております。

国は毎年9月10日から16日を「自殺予防週間」として、

国別(先進国)自殺死亡率 2018年



資料：世界保健機関資料(2018年9月)より厚生労働省自殺対策推進室作成

マスコミを通じて様々な啓発活動をしたり、様々な団体が相談窓口を開設したりしております。

ライフサポート相談室での事例として「今、

橋の上に居ます」との男性からの電話がありました。皆さんが相談員だったらどのような言葉をかけるでしょうか？
きっと「何があったんですか？」「橋は高いのですか？」「出来れば橋から離れてください」などと言葉をかける方が少なくないように思います。私たちカウンセラーは電話してくれた相談者の気持ちを想像して「死にたいくらい苦しいのですね。電話してくれてありがとう」と【共感・感謝】の言葉を伝えます。すると電話の向こうの相談者の声の質が変わり、仕事での苦しかった出来事や夫婦関係が悪い状態などを話し続けてくれて、相談時間の50分になったら「私はあなたが死んでしまったら悲しい。来週また電話が欲しい」【約束】と伝えると、必ず約束した日・時間に電話が来て、自殺予防をすることが出来ます。

この【共感・感謝・約束】を『heartメッセージ』と命名して、子どもから大人までこのようなコミュニケーションができる人を増やす活動を始めています。

連合群馬として10月1日(土)にゲートキーパー講座(ラインケア編)を行いますので、多くの役員や組合員の皆さんにご参加いただけるとありがたいです。

■お知らせ■

連合はこちらも協力しています！！

産業カウンセラー協会主催「働く人の相談室」

今年は、電話相談室に加えてSNS相談室も実施します。
2022年9/9(金)・10(土)・11(日)10:00～22:00

働く人の電話相談室

0120-583-358【相談料・通話料無料】

働く人のSNS相談室

<https://lin.ee/PRQbR7C>【相談料無料】

※ SNSにかかるインターネットの通信料は相談者様のご負担になります。





ユニオン掲示板

労働組合リーダーに知ってもらいたい!



連合群馬労働者福祉事業団体の取り組み

<こくみん共済coop編>



こくみん共済coopは「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」という思いから「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトは、こくみん共済coopと金沢大学が共同で、子供たちの交通安全について研究・実験を行い、

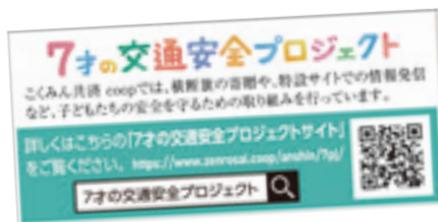
7才前後の子どもたちを交通事故から守るためのさまざまな取り組みを実施しています。その取り組みの1つが「マイカー共済の見積もり1件につき1本の横断旗を全国の児童館・小学校に寄贈」する活動です。県内でも小学校を中心に寄贈しています。皆さんの組合でも共済活動とともにこの社会貢献活動に取り組んでみませんか？

活動に賛同する協力団体は、こくみん共済coopの担当者へご連絡ください。

※横断旗を送る取組期間は、2023年5月31日までです。



7才の交通安全プロジェクトの様々な取り組みはこちらのサイトから確認できます。



労働組合 on VIEW

連合群馬青年委員会

産別の枠を超えたヨコのつながりを作って仲間を増やそう!

連合群馬青年委員会は、10産別より選出された12名の委員で構成しています。委員会開催時は出席率が良く、イベントは全員で協力しあって運営しています。今後の労働界での活躍が楽しみな若者たちです。

連合群馬青年委員会では、まず産別を超えたヨコのつながりを作るため「交流」を意識した活動を展開しています。ここ2~3年はコロナ禍ということもあり、対面での活動ができていませんでしたが、Webを使った交流会や学習会など、できることを青年委員全員で考え、実施してきました。

今年になり、県内の感染者数も落ち着いてきたところで、「ウォークラリー交流会」と「政治参画意識を高める取り組み」を企画し、感染対策をしながら対面で開催することができました。どのような事業か、簡単にご紹介いたします。

1つ目の「ウォークラリー交流会」ですが、4月に県立東毛青少年自然の家にて開催しました。周辺にウォークラリーのコースがあり、他産別の仲間と巡るというものです。当日は天気にも恵まれ、40人を超える多くの仲間と交流を深めることができました。ほとんどの参加者から「とても楽しかった」といった声をいただき、対面で交流することの楽しさを改めて実感することができました。

2つ目の「政治参画意識を高める取り組み」については、参院選の結果や、来年行われる地方統一選に向けて若年層の政治への意識を高めることを目的に、女性委員会と合同で開催しました。前半は時事YouTuberとして政治や



教育現場を中心に取材をしている、たかまつな氏を迎え、若者でもわかりやすい内容で政治についてお話いただきました。工夫されたスライドや、クイズ形式で参加者に質問するなど、とても楽しい講演会となりました。後半は連合群馬議員懇談会の会員議員さん15人に参加いただき、グループごとに意見交換を行いました。個人的ではありますが、「議員さんは話しかけづらい」、「普段何をやっているのかわからない」と感じていましたが、実際に話をしてみるととても話しやすいし、身近に感じることができました。会員議員さんたちは青年委員を応援してくださっており、我々も期待に応えなければなりません。若者の政治離れを少しでも食い止めるべく、このような学習会を更に展開していきたいと思えます。



労働条件の向上や処遇改善といった同じ目的を持った若い仲間同士で活動できるのは、この連合群馬青年委員会しかありません。参加者側はもちろん、運営側としても楽しく交流でき、事業が終わると達成感があります。まずは青年委員の活動に気軽に参加してみてください。

ともに頑張りましょう!

横のつながりを大切に ご質問お問い合わせは↓まで



連合群馬青年委員会
〒379-2166
住所●群馬県前橋市野中町361-2
TEL●027-263-0555(連合群馬内)
事務局長 関 侑介(非専従・自治労)



【2022-2023年度青年委員会役員体制】

役職	氏名	構成組織	所属組合
委員長	生方 一之	J E C連合	関東電化労組
副委員長	石井 貴也	自動車総連	ミツバ労組
事務局長	関 侑介	自治労	中之条町職労
幹事	石塚 歩	自動車総連	SUBARU 労組
幹事	堀澤 龍之介	自治労	東吾妻町職
幹事	堀口 慎吾	電機連合	OKIアイエイエエエ
幹事	大塚 蓮	J A M	エスピック労組
幹事	大石 拓人	U A ゼンセン	フレッセイ労組
幹事	保科 祐介	J P 労組	J P 労組
幹事	村田 太輝	基幹労連	IHI 原動機労組
幹事	菊地 亮介	電力総連	東電労組
幹事	山鹿 良介	情報労連	N T T 労組

ダーズリン-インド・ネパール料理-

太田市

太田で本格インド・ネパール料理が味わえるお店「ダーズリン」は、生姜、ニンニク、スパイスたっぷりのカレーを提供してくれます。特にオススメというエビのカレーは、トマトベースの酸味と甘さ、スパイスの辛さが絶妙なバランスで、プリプリのエビがたまりません。

ランチは、エビを含めた3種類のカレーについて、もちもちのナンもおかわりOK! サラダ・ヨーグルト・チャイもついてお得なセットが楽しめます。テイクアウトのお弁当ランチでは、680円(税込)で、選べるカレーとナンとサラダがつきます。残暑を乗り切るために! 疲れた体を元気にするために! ぜひ「ダーズリン」のカレー、お勧めです!

住所 ● 太田市小舞木町 301 TEL ● 0276-49-3800
営業時間 ● 昼 11:00 ~ 15:00 夜 17:00 ~ 22:00
定休日 ● なし(元旦のみお休み)

ランチ 味-テイング

取材の時の道

疲れた時にはお試しませ!

3月に連合群馬の仲間入りし、はや半年。散歩や山歩きが趣味というアウトドア派の太田地協・星野麻里子職員からの紹介



NON VEG LUNCH
1,100円



県民意識調査から見えてくること

金子 昌弘 (連合群馬政策委員・館林地協 事務局長)

連合群馬の「県民意識調査」は大切な取り組みです。私たちが働く館林・邑楽郡には病院が少ないと言われていますが、医療圏としては不足しておらず、県政からは課題として見えにくくなっています。昨年の「県民意識調査」で医療についての設問を扱ってもらうことで、医療圏内の偏りが数字として現れました。

また、地協での政策制度提言の際、ある首長さんに「この調査は毎回よく読ませてもらっている。地域の人々の声が反映されているから」とコメントをいただきました。

毎年設問作成から調査依頼、集計と提言作成は大変なことです。地域住民の声が届いています。いろいろな産業の労働組合が集まる「連合群馬」は労働条件だけでなく、住みよい社会をつくっていく役割があります。調査としても、提言としても良いものが出し続けられるよう取り組んでいきましょう。



組合役員・組合員とその家族に感謝

第26回参議院議員選挙では、連合群馬として初めて役員「白井けいこ」副事務局長を擁立し、選挙戦に臨みました。しかし、当選の栄を受けることはなく、惜敗となりました。

選挙戦においてご支援をいただきましたすべての方に感謝を申し上げます。

白井さんにおいては、8月1日より復帰し、引き続き連合群馬活動のけん引役として活躍していただいています。

白井副事務局長より

参議院選挙では誠にお世話になり、ありがとうございました。

準備期間の少ない中、多大なご支援を頂戴したのに応えられず、誠に申し訳ありません。今後は連合群馬の活動を通じ、皆さまに恩返しできればと考えています。

私は「政治は、住民の幸せのためにはあるはず」と訴えてきました。来年は「第20回統一地方選挙」があります。今後とも労働組合が政治活動に取り組む意義も含め、誰一人取り残されない社会の構築に向けて取り組んでいきます。



第27回 年次大会 告知

連合群馬の第18期の中間大会を開催し、18期前半期の振り返りおよび後半期の活動をスタートさせる年次大会を開催します。

と き

2022年10月29日(土)13:30~16:30

と ころ

前橋問屋センター「華龍の間」
前橋市問屋町2丁目2番地

付議事項

第18期前半期活動報告、決算・監査報告
連合群馬あり方検討委員会「中間報告」
第1号議案「第18期後半期(2023年度)活動計画(案)」
第2号議案「第18期後半期(2023年度)予算(案)」
第3号議案「役員交代」
第4号議案「表彰について」 ほか



編集後記

連合群馬は9月が決算期です。10月には年次大会があり第18期後半期の活動が始まります。あつという間の1年でした。前半期は3年ぶりのふれあいフェスティバルの開催など大きなイベントも実施できたのでコロナ禍でも活動の前進がはかれたのではと感じます。まだまだ先行き不透明なコロナの対応にも順応してきたかなと思いますが、今夏も感染者は増加しているので後半期も行事が実施できることを祈るばかりです。(坂)

最近注目した言葉は「ウェルビーイング」(well-being)。職場環境の改善や長時間労働の削減など積極的に「ウェルビーイング」に取り組む企業が増えているようです。世界幸福度ランキングで日本は54位。先進国の中では低い順位です。「働きやすい国」になって欲しい!(イ)



読者プレゼント

物価の高騰を感じている人は多いと思います。
あなたが**値上げしたと**感じるものは**なんですか?**
(食品(具体的な品名でも可)・ガソリン・電気・ガスなど)
また、物価高に対して何か**節約**をしていますか。
ご意見を聞かせてください。

対象 ▶ 連合群馬加盟組織の方

3,000円分図書カード1名様、粗品を5名様にプレゼントします!!

応募必切 ▶ 2022.9.30(金)必着分

●当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます

応募はこちらから

